

04・薬漬けにされて、指一本動かせないまま犯される

『03・【耳舐め】脳を溶かす魔女のあまあま耳舐め』からそのまま続き。

十一月上旬。時間帯は十七時近い。天気は曇り。外の気温は十三度程度で、部屋は暖かい。

主人公は、キャパシティを超えるほど気持ちよかったのだろう。

ベッドの上で涙で目をぐちゃぐちゃに濡らして、苦しそうに甘く息を吐き、ぐったりしている。

サリアが主人公に触れたのは、麻酔の特性を十分に発揮させるためだ。だが、これにも手順がある。

まず、いきなり露骨な性感帯を攻めたら、刺激が強すぎて心が壊れる恐れがあった。かといって、優しく手を握ったり、抱きしめたりするだけでは性的快感は得られない。

さらに、主人公の理解を得るために逐一説明したり、時間をかけてリラックスさせて、ゆっくり気持ち良くしたりするという、時間的余裕もなかった。

主人公が意識を取り戻した瞬間から、いつ精神崩壊が起きるかわからないという危険性があつたからだ。

結果、サリアは苦肉の策として耳に触れたのだが、間違つてはいなかったらしい。

サリア、自分が人とろくに手をつないだ事すらない、当然性経験なんて一切ない処女で、よかつたと思う。

見る限り、主人公は正気を保っている。

自分のつたない愛撫だからこそ、この程度で済んだのだ。

それがなんだか情けなくもあるが……今はこれでよかつたと思う。

サリア、主人公が落ち着くのを待ってから、優しく話しかける。

●中央 至近距離

「優しく、甘つたるくからかう」

んゝ大丈夫？ いっぱいされてビックリしたね♡ 大丈夫。怖くないよ♡

「とても優しく、ゆつくりと」

さっきも言つたでしょう？ あなたは何にも悪くない。

だってあなた、ずっとエロい事なんかできる状況になかつた。

普通の女の子らしい暮らしさえ我慢してたでしょう？

そんなところにこんなヤバい快樂、

『どぶっ』をわざといやらしく言う」

どぶっで注ぎ込まれたら。あっさり屈しちゃうのもしようがないです♥

「すごく優しく言い聞かせる」

いいんです。負けちゃうのはあなたのせいじゃありません。

ぜーんぶ世界と、あたしと、お薬セックスがいけないんです」

サリア、再び主人公の左耳に唇を寄せる。

●●左 【※マークのセリフ終わりまでささやく】

「すごく優しくささやく」

だって、ずっと思ってたでしょう？ もう頑張りたくない、楽になりたいって。ただ横になってるだけで全部してもらえて、気持ちよくなりたいって。

「ゆっくりと落ち着いたトーンで、淡々としていくくらいにささやく」

だからあたしがしてあげます。全部解決です。よかったですね？」※

サリア、主人公の正面に向き直る。

●中央 至近距離

「額に軽く一回だけキスする」

ちゅ♡

【すごく優しく】

あたしあなたのためなら、何でもしますから。

【優しく笑う】

ふふ。お耳ペロペロ気持ちよかった？

じゃあ、もっとしながら、今度はおっぱいも気持ちよくなりましたよね。

【わざと大きめに音を立てて、唇に軽く一回だけキスする】

ちゅっ♡

SEE…サリアがベッドの上で動く音

【最初から最後まで流す】

サリア、再び主人公の右耳を舐めながら、胸を触る。

●右 耳舐め

☆【右耳を ※10秒※ 舐める。

優しく丁寧に、浅めに舐める】☆

ん……くちゅっ、ちゅぱっ。れるっ。ちゅるるっ……くちゅっ。

●●右 【※マークのセリフまでささやく】

【ゆっくり、少しいやらしくささやく。乳首をさして言っている】

ほら。もうこんな膨れ上がってんじゃん。可愛い。※

●右 耳舐め

☆【右耳を ※10秒※ 舐める。

さつきよりも少ししっかり奥まで舐める】☆

んくっ……ちゅぱっ。ちゅぶっ。くちゅっ♡ れろっ♡

●●右 【※マークのセリフまでささやく】

【ゆっくり、少しいやらしくささやく】

無理やりされてんのに♡ ちゃんとおつきでkindだね♡ 乳首。※

●右 耳舐め

☆【右耳を ※10秒※ 舐める。

いやらしく、少しだけ大きめに音を立てて舐める】☆

んうっ……れるっ。じゅぶっ、くちゅっ♡ ちゅるっ♡

●●右 【※マークのセリフまでささやく】

【ゆっくり、少しいやらしくささやく】

ちゃんといじめてあげないと、収まりつかないそうですね？

※

【右耳に優しくキスする】

ちゅっ

サリア、主人公の正面に向き直る。

●中央 至近距離

「こうやってさ。おっぱい両端から持ち上げるみたいにすくってさ。

先っぽ。両方とも親指で押すみたいに転がしてさ。

【優しくからかう。乳首が硬くなったので嬉しい】

あく硬くなってきた♡

【『それで』と『きゅっ』の間で一呼吸置く】

それで。きゅってつまむの。気持ちいいね♡

【わざと音を立てて乳首にキスする】

じゅるるっ……ちゅっ♡」

サリア、右側に戻ってささやく。

●●右 【※マークのセリフ終わりまでささやく】

「優しくからかう」

これでおっぱいも悪戯されちゃいましたね。

大切な身体、こんな風に汚されて悔しいですね
でも気持ちいいんだよね♡」※

サリア、主人公の正面に向き直る。

●中央 至近距離

「少し意地悪にからかう」

きやは。その顔ヤバ♡ よっぽどいいんですね♡

「少し間をあけてから。優しくなる」

可愛いです。大好きですよ。もっとよくなりましたよね♡

「乳首をくわえる」

ん……♡

●中央 下

☆【左胸を ※30秒※ ぴちやぴちや吸う。

丁寧に、優しく、音を立てすぎないように吸う】☆☆☆☆☆

ふ……ぴちやつ♥ ちゅぷっ……ぺろっ♥ んっ……くちゅっ♥ ちゅるるっ♥
ちゅぱっ♥ ペろっ……♥

【右胸をさして】

こっちもしてほしい？

☆【右胸を ※30秒※ ぴちやぴちや吸う。

同様に、丁寧に、優しく、音を立てすぎないように吸う】☆☆☆☆☆

ちゅぱっ……ぴちやつ♥ んっ……ふ……れろっ♥ ペろっ♥
ちゅるっ……ちゅくっ……ちゅる……ちゅぱっ♥

【優しくからかう】

あはは、びくびくしてる。刺激強すぎた？

【右の乳首に一回だけ軽くキスする】

ちゅっ♥

【少し間をあけてから】

見て下さいよ。あなたのおっぱい、白くて柔らかくて、あんなに綺麗だったのに。
あたしに好きなようにされて、ひどい事になっちゃいました。

【甘く優しくからかう】

こんな事されて、もうお嫁に行けないね♥ あたしがもらうから安心していいよ♥

☆【左胸を ※15秒※ 吸う。

先ほどよりも少し音を立てて、熱心に吸う】☆☆

ちゅぷっ……れるっ♥ くちゅっ♥ ちゅるるっ♥ ぺろっ♥

【主人公の反応がいいので】

ん〜？ 濡れた乳首舌でいじられるの、そんなにいいの？

こう？

☆【右胸を ※15秒※ 舐める。

先ほどよりも少し音を立てて、熱心に吸う】☆☆

んんっ……ちゅぱっ♥ れろっ……♥ ちゅるるっ♥ ぺろっ♥ れろっ♥

【くわえたまま話す】 ※セリフが聞き取りにくくなってもOKです

あいてる方はつねってもらうのがいいんだ。こんな？

【主人公の反応がとってもいいので】

あは♥ 可愛い♥ もしかして♥

こんな風に両乳首くーって引っ張られて、ちよつと強めにつままれんのがいいの？

【少し意地悪にからかう】

マゾだな〜♥

【思わず本音が漏れる】

可愛い。

【わざとゆっくりめに言って言い聞かせる】

勇者様はいじめられるのが好きなマゾっ子だったんですね
好きですよあたしそういうの♡」

SE2..サリアがベッドの上で動く音2

【最初から最後まで流す】

【少し音量を小さくして流す】

サリア、主人公の顔へ顔を近づける。

●中央 至近距離

「額に一回だけ軽くキスする」

ちゅ♡

●●左 【※マークのセリフまでささやく】

【※マークまで、恋人のようにすごく優しく、ゆっくりささやく】

これから色々教えて下さいね？ あなたの気持ちいい事。

あたしはあなたのご主人様なんですから。

奴隷ちゃんの事、性的に満足させてあげなきゃなんで♥

ほら。お胸さっきのやり方でいっぱいいじってあげますから。

お耳も気持ちよくなつとこ？ ※

●左 耳舐め

☆【左耳を ※30秒※ 舐める。

優しく、丹念に、じっくり舐める】☆☆☆☆☆

ぺろっ……ちゅるっ。ぴちやっ。くちゅっ♥ ペろっ……れろっ……ちゅぶっ

ちゅばっ……ちゅっ♥ ちゅっ♥ ちゅっ♥

●左 軽く吹く

【軽く吹く】

ふっ♥

●左 至近距離

ふふ。お顔とろとろんなったね♥ 可愛いですよ♥

【股間をさして言っている】

そんでさあ、DMの勇者ちゃんのこころはさ?」

SE3..サリアが主人公の股間に触れる音1

【最初から最後まで流す】

●●左 【※マークのセリフまでささやく】

【少し意地悪にからかってささやく】

あくやっぱり♥ とつくにぐちやぐちやに濡れてんじゃん。

【ひとつ前のセリフとのギャップを意識して、すごく優しくささやく】
ずっと触ってほしかったでしょ？

【一呼吸おいてから】

いやいや、ごまかせてませんから。

【からかわずに優しくささやく】

いいんですよ。自然な反応ですから。

【ここから※マークまで一言一言、意地悪に、でも優しく言い聞かせるようにささやく】
無理やり薬漬けにされて。エロい衝動抑えられなくなって。

おねだりしちゃうのは当たり前前的事了。

勝手に感じる身体にさせられて犯されてるんだもん。

あなたは何にも悪くないんですよ♥」※

サリア、中央に移動する。

●中央 至近距離

「瞼に一回だけ軽くキスする」

ちゅっ。

「すごく優しく」

ふふ。ちよつと身体起こしましょうか」

SE4..サリアが主人公を抱き起こす音

「最初から最後まで流す」

サリア、主人公を後ろから抱きしめて、左耳側に自分の頭を置く。
左耳に話しかけている形になる。

●左 至近距離

「ん……。はい、できました。」

「耳に一回だけ軽くキスする」

ちゅっ♡

【優しく。愛しくてたまらないという感じで】

ふふ。その顔エロすぎ。

【ゆっくりと説明する】

こうやって後ろからぎゅってしてますから。あたしと密着えっちしましょうね。

●左 軽く吹く

【軽く吹く】

ふっ♡

●●左 【※マークのセリフまでささやく】

【静かにささやく】

ねえ。こうやって左側から話しかけられるとさあ。

なんか思い出しませんか？ 妖精さんは、いつも左側にいたもんね。

※

●左 至近距離

あれさあ……。

【言いかけてやめる】

いえ。何でもないです。

【耳に一回だけ軽くキスする。キスしてごまかす】

ちゅ♡

●左 至近距離

【ここから※マークまで、優しく真剣に。ゆっくりめに】

ねえ。大好きですよ。

あなたは、勇者である自分にしか価値がないと思っていたかもしれませんが。そうじゃないよ。

あたしは。あたしだけは、どんなあなたでも好きです。

あなたがどんな人でもいい。そばにいてくれればそれでいいんです。絶対に見捨てません。

【少し間をあけてから】

だからあたしになって下さいよ。

全部捨てて、あたしの可愛い奴隷ちゃんになって下さい。

【ひとときわ真面目に】

ね？」※

サリア、主人公の顎を優しく持ち上げて、こちらを向かせる。
そのままキスする。

●中央 至近距離

☆【※15秒※ キスする。

浅いキスを何回も繰り返して、だんだん深くなっていく】☆☆

ん……♡ ちゅっ♡ ちゅっ、ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅる……ちゅっ♡

【真剣に】

好きだよ……。

☆【※15秒※ キスする。

さつきよりも深いキスになる】☆☆

ちゅ……♡ ちゅるっ♡ くちゅっ……ちゅ♡ れろ……ちゅっ♡

【少し間をあけてから。さつきの真剣な告白なんかなかったように振る舞う】

くふ。勇者ちゃんの舌、ちっちゃくて可愛い♡

んじゃ。そろそろ楽になっときましようか。ちゅーしながらクリイキしよ？

【唇に一回だけ軽くキスする】

ちゅ♡」

SE5..サリアが主人公の股間に触れる音2

【最初から最後まで流す】

【小さめの音量で流す】

【途中から一段階速度と音量が上がる】

【後半からはさらに一段階速度が上がる】 ※ここは音量は上がりません。 ※

【規定の位置まで繰り返して流す】

サリア、また左側から話しかける。

●左 至近距離

「どろどろに濡れた股間をさして言っている」

うわうどろってしてる。エロいなく勇者ちゃんは。
クリ、がつり勃起してるし。

●●左 【※マークのセリフまでささやく】

「優しくリードするようにささやく」

ぬるぬるつけて、いっぱいこすったげる。痛くないから安心して？ ※

●左 至近距離

【ふと思いで出して。意地悪な印象にならないように】

あくそうだ。おっきたのはクリちゃんだけじゃないですよ。
こっちの乳首もいじったげるから安心しろ？

●●左 【※マークのセリフ終わりまでささやく】

【優しくリードするようにささやく】

コリコリのここ、いっぱいきゅーきゅーしますからね。

ふふ。気持ちいいところ、二か所一緒にされて気持ちいいね♥

ふふ」※

サリア、また主人公の顎を優しく持ち上げて、こちらを向かせる。そのままキスする。

●中央 至近距離

☆「【※30秒※】キスする。

丁寧な舌を吸って、めろめろにさせるディープキス」☆☆☆☆

れるっ……ちゅくっ♥ ちゅるるっ、れるっ♥ んくっ……ちゅ♥

れる……♥ んっ♥ ちゅる、ふっ♥

【唇離すときに音を立ててちゅっとする】

ちゅっ♥

【甘ったるくからかう。陰部がとても濡れている事をさして言っている】

ふふ。すご。どんどん溢れてくる♥

そんなにいいの？ よしよし♥

【優しく。主人公がすごく感じるところを見つけて】

あ。ここね？　ここがいいんだ。わかった。いっぱいしてあげる。

☆【※15秒※　呼吸だけをする。

ゆっくり、興奮した様子で息を吐きながら、時々優しく、くすくす笑う】☆☆
はあ……はあ……はあ……♡　ふふ。はあ……はあ……♡

※ここでSE5の速度と音量が一段階上がる。

【※マークまで、一行ずつ、優しく、ゆっくり言い聞かせる】
すごい音してるね。

勇者ちゃんは今、こんなエロい音立てながら。

好きでもない女にお股すりすりしてもらっていきそうになってるんだよ♡
悔しいね。でも、気持ちいいよね♡　※

☆【※30秒※　呼吸だけをする。

ゆっくり、優しく、主人公を気持ちよくする事に集中している。

時々くすくす笑う】☆☆☆☆

はあ……はあ……ふう。ふふ。はあ……はあ……。ふふふ。はあ……はあ……」

サリア、また左側から話しかける。

●●左 【※マークのセリフ終わりまでささやく】

「ゆっくり、優しくリードするようにささやく」

どれ。そろそろいきそう？ いいよ。じゃあ、ゆっくり十数えてカウントダウンしようか。

ちゃんと、ゼロのところでイけるかな？

【すごく優しくささやく】

ちよつとこするの早くするね？ イキやすいように、足広げてあげる。

※ここでSE5の速度がさらに一段階上がる。

【すごくゆっくり、優しく一つずつささやく】 ※正確な十秒には全くならなくてOKです

じゅーう。

きゅーう。

はーち。

なーな。

ろーく。

ごーお。

●左 軽く吹く

【優しく、軽く吹く】

ふっ♡

【すぐくゆっくり、優しく一つずつささやく】 ※正確な十秒には全くならなくてOKです

よーん。

さーん。

【すぐく優しくささやく】

後ちよつとだよ。

にーい。

いーち……。

【すぐく優しくささやく】

大好きだよ。

【わざと少し間をあけてからささやく】

ぜーろ♡※

※ここでSE5がフェードアウトする。

SE6..サリアがベッドの上で動く音3

【最初から流す】

【0―10秒ほどまで流してフェードアウトする】

●●左 【※マークのセリフ終わりまでささやく】

「ゆっくり、あやすようにささやく」

ん……♡ よくできました♡

犯されてイッちやったね♡※

SE7..サリアが主人公の背中を優しく叩く音

【最初から最後まで流す】

●●左 【※マークのセリフまでささやく】

「ものすごく優しく。聞き手に、何か理由があって無理やり抱いたらしい事を察させる」
よしよし。これでもっと楽になるからね。

【優しくからかう】

イッた後って、身体とろくんなってなるじゃん？

【すごく優しく】

それがあなたを守ってくれますからね。

※

●左 至近距離

【少し間をあけてから】

よしよし。じゃあち よっと休みましようか。

●●左 【※マークのセリフまでささやく】

【優しくささやく】

明日からもずっと。ずっとあたしとエロい事しましょうね。大好き。愛してるよ。

※

【優しく唇に一回だけキスする】

ちゅっ

このままフェードアウトして終了。